

# Practical Cache Server Operation

～量と質、様々なQueryに対応するには～

Internet Week 2004

NTTコミュニケーションズ(OCN)

大島 治彦

2004/12/03

1

## Today's Topic

インターネットの普及によりCache Serverは常に忙しい。  
「異常/正常」どちらのQueryも増え続ける。  
どうする？

- 様々なタイプの大量Query
- Authorative Serverとの関係
- Cache Serverのスケールビリティ

2004/12/03

2

# 大量Query(1)

2004/12/03

3

## 同一SrcIPからの大量Query

- DoS、不正アクセス、ユーザの設定ミス  
(ServFail、NXDomain、PrivateIP逆引き…)
- Webサーバのログ解析ツール  
(大量の逆引き)

2004/12/03

4

## 検知と対処

- CPU使用率、Queryレート(qps)、nslookup遅延の閾値
- QueryログやF/WでのSrcIPの特定
- BINDのBlackholeやF/Wでアクセス拒否

2004/12/03

5

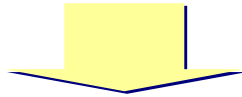
## 大量Query(2)

2004/12/03

6

## 大量のSrcIPからの特定のQuery

- Wormが特定のサイトをアタック  
(MS Blast、Mydoom、Netsky、Antinny...)
- DDoS(FQDNを引くもの)



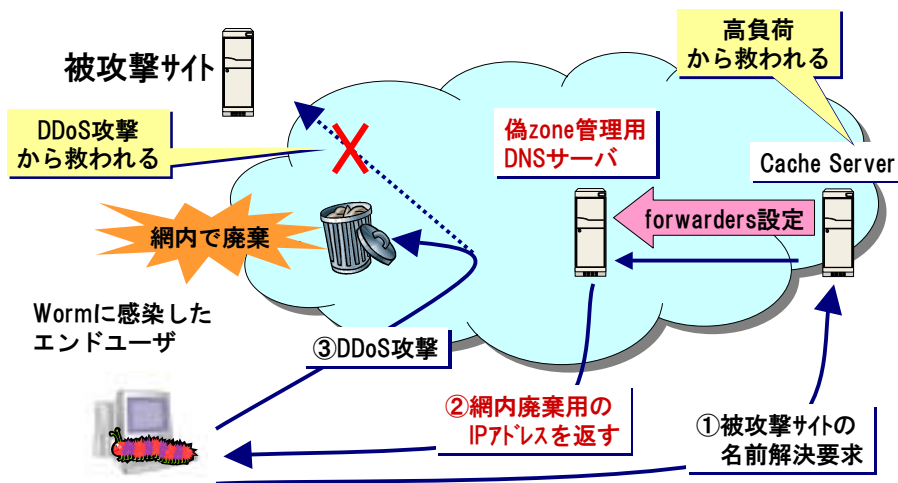
- アタックトラフィックで被攻撃サイトとネットワークが輻輳
- クライアントがNXDomainをキャッシュせず、連続QueryでCache Serverが高負荷

2004/12/03

7

## 対処

- Forwardersと偽ゾーンサーバでの代理応答



2004/12/03

8

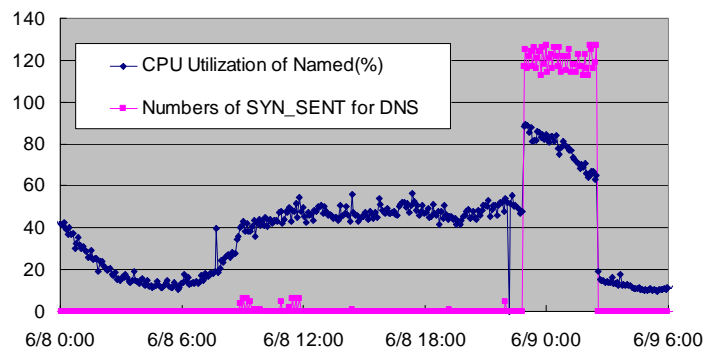
## Authoritative Serverとの関係

2004/12/03

9

## 原因不明のCache Server高負荷

- Query数は正常、でもCache Serverは高負荷
- 何故かTCPのSYN\_SENTの数と連動

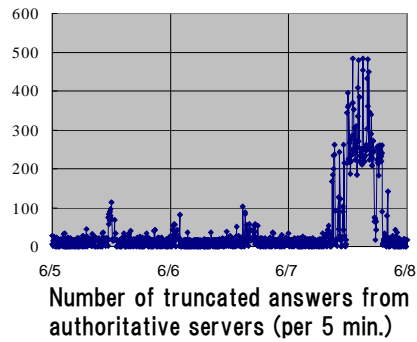
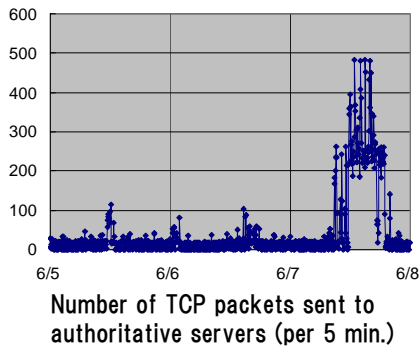


2004/12/03

10

# TCP Connectionが何故増える？

- TC(Truncated)ビットが立ったパケット数と連動

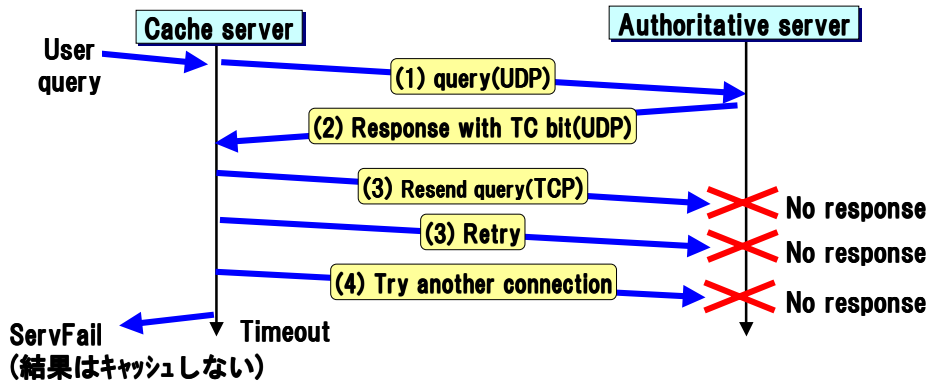


2004/12/03

11

# SYN\_SENT発生メカニズム

- Authorative Serverが大きなRR Setを登録
- しかも、EDNS0に対応せずTCPもフィルタ



注) 高負荷が発生するのはBIND8。BIND9では発生しない。

2004/12/03

12

## 対処は？

- Authoritative Serverの管理者への依頼
  - RR Setのサイズを小さく
  - TCPでのアクセスを許可
  - EDNS0への対応
- BINDのBlackhole設定で該当ユーザからのQueryを拒否
- Forwarders設定と偽ゾーンサーバでの代理応答

2004/12/03

13

## EDNS0とTCPフィルタの関係

Cache Server	Authoritative Server	
	EDNS0 対応	TCP 対応 (RFCでは必須)
○	○	×
○	×	×
×	○	×
×	×	×

- TCPを開ければ問題なし。
- TCPが開けられないとEDNS0が必須。

TCPをフィルタすると512オクテット超でSYN\_SENTが発生しないのはここだけ

2004/12/03

14

## 512オクテット以下が基本だが. . .

- AAAAでTCPへのfallbackが増加へ  
現在のAAAAのQuery比率⇒約2%
- EDNS0も直ぐには対応できない
- セキュリティ面、性能面でもTCPは開けたくない
- そもそもAuthoritative Server依存の対策は辛い

2004/12/03

15

## Cache Serverの自律的な回避

- Cache Serverが自分で身を守る(実装変更)
  - TCビットが立ったパケットが帰ってきてもTCPにfallbackしない(RFC違反)
  - 一度TCPにfallbackしても応答の無いRRはTTLの間Cacheし、再帰問合せをせずにServFailを返す(Internet Draft)

2004/12/03

16



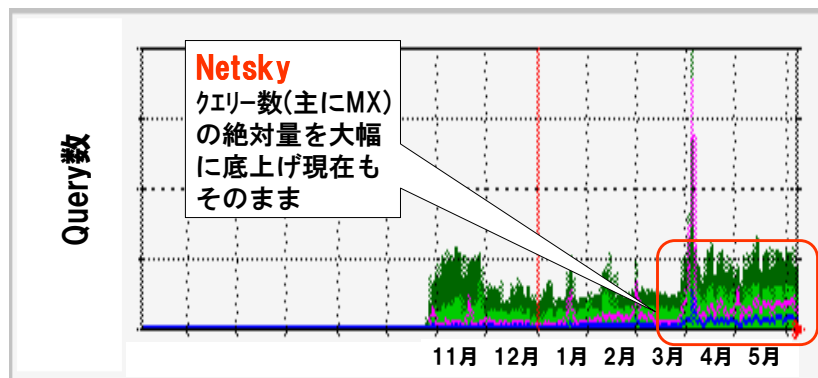
## Cache Serverのスケラビリティ

2004/12/03

17

## 規制できないQuery数の増加

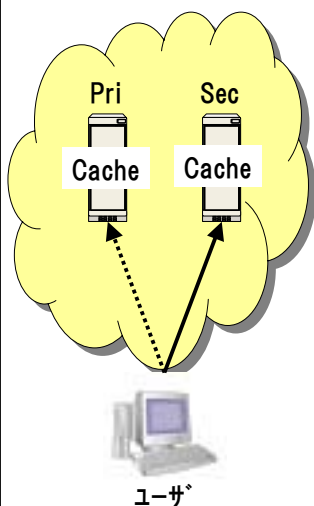
- ブロードバンド化と利用動向の変化
- 慢性的に存在するウイルス、ワームの影響



2004/12/03

18

## Cache Serverの負荷分散



- 地域毎、サービス毎に利用するCacheを分散し、PrimaryとSecondaryで運用
- 分散数を増やし、Cache1台当たりのqpsは低めで運用
- qpsが上がり負荷が厳しくなれば、再分散 or 設備更改

2004/12/03

19

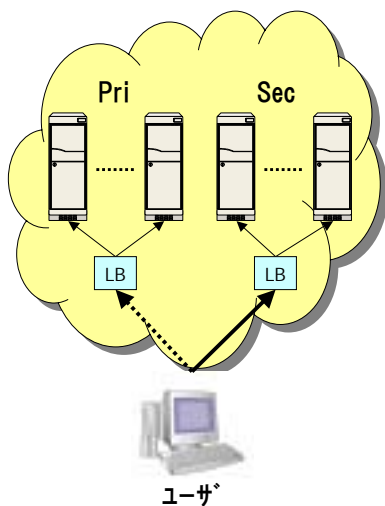
## Pri/Secでの構成の限界

- Cache1台あたりは数千qps程度。  
⇒スケールしない。
- ユーザが設定するのはPriとSecの2つ  
⇒PrimaryとSecondaryの切り替えが遅い
- 高信頼性&大容量のCacheサーバが有効

2004/12/03

20

## 負荷分散装置 & 複数台Cache

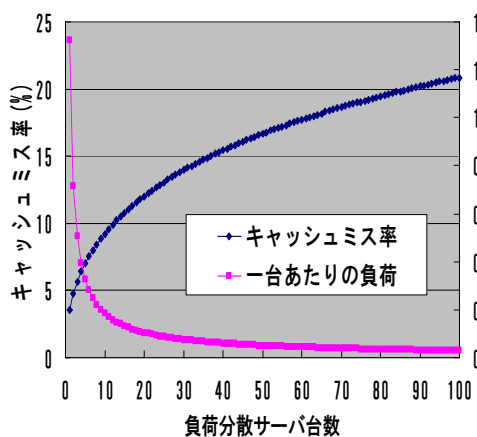


- 負荷分散装置をフロント、裏側に複数のCache配置でQueryを分散
- ユーザは負荷分散装置のVIPを利用
- Cache故障時は負荷分散装置が自動切り離し

2004/12/03

21

## Cacheの台数の最適値？



- 闇雲に台数を増やせばキャッシュが有効に機能しない
- 実際のトラフィックを分析すると10台程度までが最適台数

(注)OCNの実トラフィックの場合

2004/12/03

22

## まとめ

- Authoritative Serverが注目されがちだが、Cache Serverも非常に大切
- Cache Serverは自分で自分の身を守る
- Queryの中身にも敏感に